



# Cisco Secure Network Server 3600 シリーズ アプライアンスの概要

- [Cisco Secure Network Server 3600 シリーズアプライアンス](#) (1 ページ)
- [Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスハードウェアの仕様](#) (1 ページ)
- [外部機能](#) (3 ページ)
- [サービス可能なコンポーネントの場所](#) (12 ページ)
- [サーバー機能の概要](#) (14 ページ)

## Cisco Secure Network Server 3600 シリーズアプライアンス

Cisco Secure Network Server (SNS) 3600 シリーズアプライアンスは、幅広いワークロードで高いパフォーマンスと効率性を提供するように設計されています。

Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスは Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) のセキュアブート機能をサポートしています。この機能は、Cisco ISE の署名付きイメージだけを Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスにインストールできるようにし、デバイスに物理アクセスしたとしても未署名のオペレーティングシステムはインストールできないようにします。たとえば、Red Hat Enterprise Linux や Microsoft Windows などの一般的なオペレーティングシステムは、このアプライアンスで起動できません。

## Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスハードウェアの仕様

次の表では、Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスのハードウェア仕様について説明します。

表 1: Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様

Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンス	ハードウェア仕様	図
Cisco SNS-3615-K9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco UCS C220 M5</li> <li>• インテル Xeon Silver 2.1 GHz 4110、8 CPU コア、16 スレッド</li> <li>• 32 GB RAM</li> <li>• 600 GB ディスク X 1</li> <li>• [RAID-0]</li> <li>• GbE ネットワーク インターフェイス X 6</li> <li>• 物理的仕様、環境仕様、および電源仕様については、次を参照してください。 <a href="#">サーバの仕様</a></li> </ul>	<p><a href="#">図 1 : Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの前面パネル (4 ページ)</a></p> <p><a href="#">図 2 : Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネル (5 ページ)</a></p>
Cisco SNS-3655-K9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco UCS C220 M5</li> <li>• インテル Xeon Silver 2.1 GHz 4116、12 CPU コア、24 スレッド</li> <li>• 96 GB RAM</li> <li>• 600 GB ディスク X 4</li> <li>• RAID 10</li> <li>• GbE ネットワーク インターフェイス X 6</li> <li>• 物理的仕様、環境仕様、および電源仕様については、次を参照してください。 <a href="#">サーバの仕様</a></li> </ul>	
Cisco SNS-3695-K9		

Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンス	ハードウェア仕様	図
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco UCS C220 M5</li> <li>• インテル Xeon Silver 2.1 GHz 4116、12 CPU コア、24 スレッド</li> <li>• 256 GB RAM</li> <li>• 600 GB ディスク X 8</li> <li>• RAID 10</li> <li>• GbE ネットワーク インターフェイス X 6</li> <li>• 物理的仕様、環境仕様、および電源仕様については、次を参照してください。<a href="#">サーバの仕様</a></li> </ul>	



(注) Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスに、メモリ、プロセッサ、ハードディスクなどのハードウェアリソースを追加することはできません。

## 外部機能

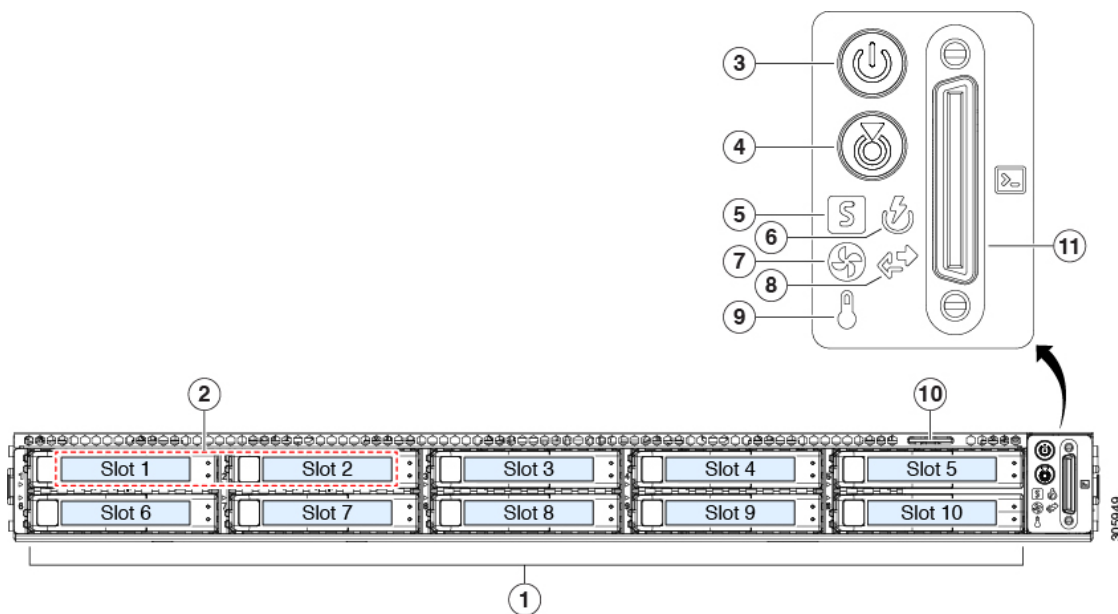
この項では、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの外部機能について説明します。

### Cisco SNS 3600 の前面パネルの機能

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの前面パネルの機能を示しています。

LED の状態の定義については、「[前面パネル LED \(6 ページ\)](#)」を参照してください。

図 1: Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの前面パネル



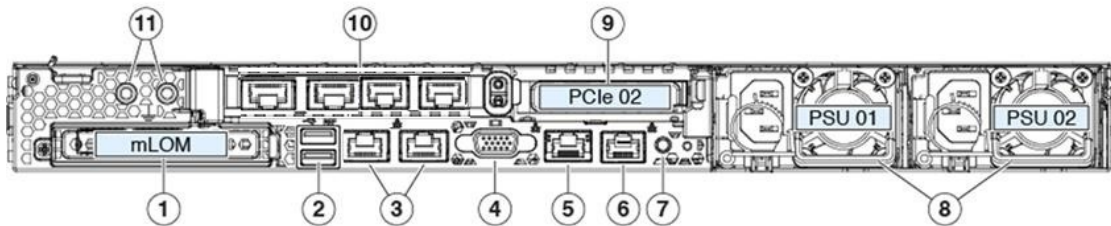
1ドライブベイ 1 ~ 10 は、シリアル接続 SCSI (SAS) および Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ハードディスクドライブ (HDD) とソリッドステートドライブ (SSD) をサポート	7ファン ステータス LED
2ドライブベイ 1 ~ 10 は、Non-Volatile Memory Express (NVMe) ベースの Peripheral Component Interconnect Express (PCIe) SSD をサポート	8ネットワーク リンク アクティビティ LED
3電源ボタンまたは電源ステータス LED	9温度ステータス LED
4ユニット識別ボタンまたは LED	10引き抜きアセット タグ
5システム ステータス LED	11KVM コネクタ (DB-15 VGA 1 個、DB-9 シリアル 1 個、および USB コネクタ 2 個を装備した KVM ケーブルとともに使用)
6電源ユニットのステータス LED	-

### Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネルの機能

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネルの機能を示しています。

LED の状態の定義については、「[背面パネル LED \(9 ページ\)](#)」を参照してください。

図 2: Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネル



1 ジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カードベイ (x16 PCIe レーン)	7 背面ユニット識別ボタンまたは LED
2 USB 3.0 ポート X 2	8 電源装置 (2、1+1 として冗長)
3 デュアル 1 Gb または 10 Gb イーサネットポート : <ul style="list-style-type: none"> <li>LAN1 (Cisco ISE GigabitEthernet 0 インターフェイスにリンク)</li> <li>LAN2 (Cisco ISE GigabitEthernet 1 インターフェイスにリンク)</li> </ul> (注) インターフェイスには左から右の順にラベルが付けられています。  デュアル LAN ポートは、リンクパートナーの機能に応じて 1 Gbps または 10 Gbps をサポートできます。	9 PCIe ライザー 2 またはスロット 2 (x16 レーン)  フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブルコネクタが付属
4 VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ)	10 PCIe 1 : 次の Cisco ISE GigabitEthernet インターフェイスにマッピングされている 4 つのイーサネットポート <ul style="list-style-type: none"> <li>GigabitEthernet 2 インターフェイス</li> <li>GigabitEthernet 3 インターフェイス</li> <li>GigabitEthernet 4 インターフェイス</li> <li>GigabitEthernet 5 インターフェイス</li> </ul> (注) インターフェイスには左から右の順にラベルが付けられています。
5 1 Gb イーサネット専用管理ポート	11 デュアルホールアースラグ用ネジ穴
6 リアルポート (RJ-45 コネクタ)	-

## ステータス LED およびボタン

ここでは、前面、背面、および内部の LED の状態について説明します。

### 前面パネル LED

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスの前面パネルの LED を示しています。

図 3: 前面パネル LED

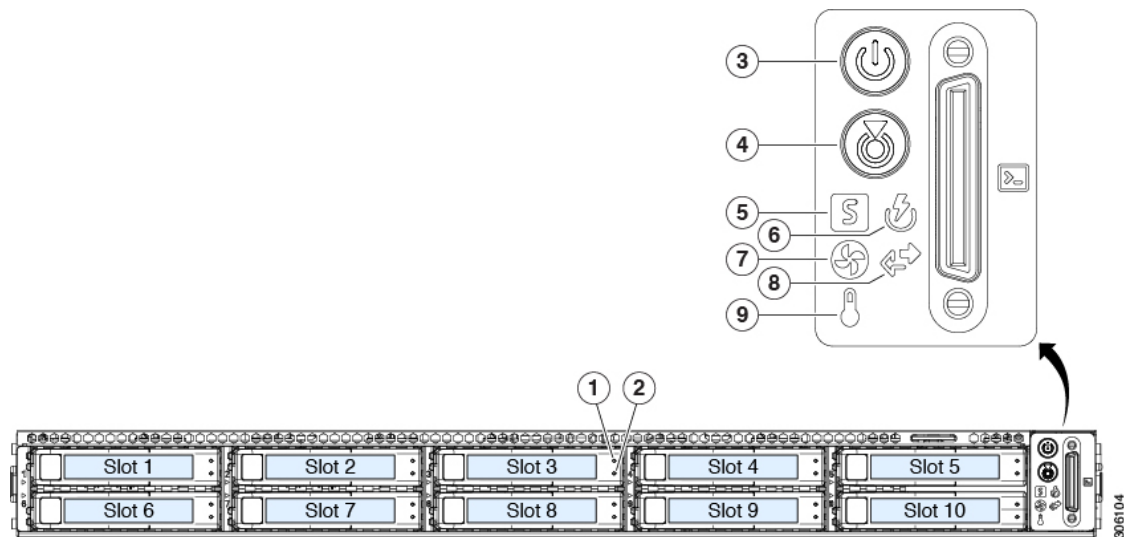


表 2: 前面パネル LED

LED 名	状態
SAS/SATA ドライブの障害 <small>(注)</small> NVMe SSD ドライブトレイの LED の動作は、SAS/SATA ドライブトレイとは異なります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：ハードドライブは正常に動作中です。</li> <li>オレンジ：ドライブ障害が検出されました。</li> <li>オレンジの点滅：デバイスの再構成中です。</li> <li>1 秒間隔のオレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ位置特定機能がアクティブ化されました。</li> </ul>
SAS/SATA ドライブ アクティビティ LED	<ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：ハードドライブトレイにハードドライブが存在しません（アクセスなし、障害なし）。</li> <li>緑：ハードドライブの準備が完了しています。</li> <li>緑の点滅：ハードドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。</li> </ul>

<p>1 NVMe SSD ドライブ障害</p> <p>(注) NVMe SSD ドライブトレイの LED の動作は、SAS/SATA ドライブトレイとは異なります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：ドライブが使用されていないため、安全に取り外すことができます。</li> <li>• 緑色：ドライブは使用中で、正常に機能しています。</li> <li>• 緑の点滅：ドライブがインサクションに続いて初期化を実行中であるか、またはイジェクトコマンドに従ってアンロードを実行中です。</li> <li>• オレンジ：ドライブに障害が発生しています。</li> <li>• オレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ位置特定機能がアクティブ化されました。</li> </ul>
<p>2 NVMe SSD アクティビティ</p> <p>(注)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：ドライブ アクティビティはありません。</li> <li>• 緑の点滅：ドライブ アクティビティがあります。</li> </ul>
<p>3 電源ボタンまたは LED</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：サーバーに AC 電力が供給されていません。</li> <li>• オレンジ：サーバーはスタンバイ電源モードです。Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。</li> <li>• 緑：サーバーは主電源モードです。すべてのサーバーコンポーネントに電力が供給されています。</li> </ul>
<p>4 ユニット識別</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。</li> <li>• 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。</li> </ul>

<p>5 システムヘルス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑：サーバは正常動作状態で稼働しています。</li> <li>• 緑の点滅：サーバはシステムの初期化とメモリチェックを行っています。</li> <li>• オレンジの点灯：サーバは縮退運転状態にあります（軽度の障害）。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源装置の冗長性が失われている。</li> <li>• CPU が一致しない。</li> <li>• 少なくとも 1 つの CPU に障害が発生している。</li> <li>• 少なくとも 1 個のデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) に障害が発生している。</li> <li>• RAID 構成内の少なくとも 1 台のドライブに障害が発生している。</li> </ul> </li> <li>• オレンジの点滅 (2 回) : システム ボードで重度の障害が発生しています。</li> <li>• オレンジの点滅 (3 回) : DIMM で重大な障害が発生しています。</li> <li>• オレンジの点滅 (4 回) : CPU で重度の障害が発生しています。</li> </ul>
<p>6 電源装置ステータス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑：すべての電源装置が正常に動作中です。</li> <li>• オレンジの点灯：1 台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。</li> <li>• オレンジの点滅：1 台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。</li> </ul>
<p>7 ファンステータス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑：すべてのファンモジュールが正常に動作中です。</li> <li>• オレンジの点滅：1 つ以上のファンモジュールで回復不能なしきい値を超えました。</li> </ul>



<p>8 ネットワーク リンク アクティビティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：イーサネット Lights Out 管理 (LOM) ポートリンクがアイドル状態です。</li> <li>• 緑：1個以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。</li> <li>• 緑の点滅：1つ以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。</li> </ul>
<p>9 温度ステータス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑：サーバは正常温度で稼働中です。</li> <li>• オレンジの点灯：1つ以上の温度センサーで重大なしきい値を超えました。</li> <li>• オレンジの点滅：1つ以上の温度センサーで回復不能なしきい値を超えました。</li> </ul>

## 背面パネル LED

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネルの LED を示しています。

図 4: 背面パネル LED

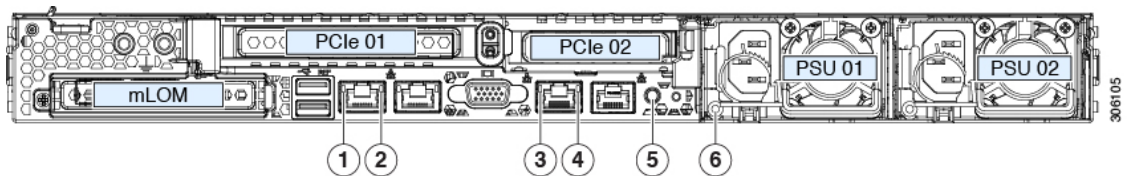


表 3: 背面パネル LED

	LED 名	状態
1	1 Gb または 10 Gb イーサネットリンク速度 (LAN1 と LAN2 の両方)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：リンク速度は 100 Mbps です。</li> <li>• オレンジ：リンク速度は 1 Gbps です。</li> <li>• 緑：リンク速度は 10 Gbps です。</li> </ul>
2	1 Gb または 10 Gb イーサネットリンク ステータス (LAN1 と LAN2 の両方)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：リンクが確立されていません。</li> <li>• 緑：リンクはアクティブです。</li> <li>• 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li> </ul>

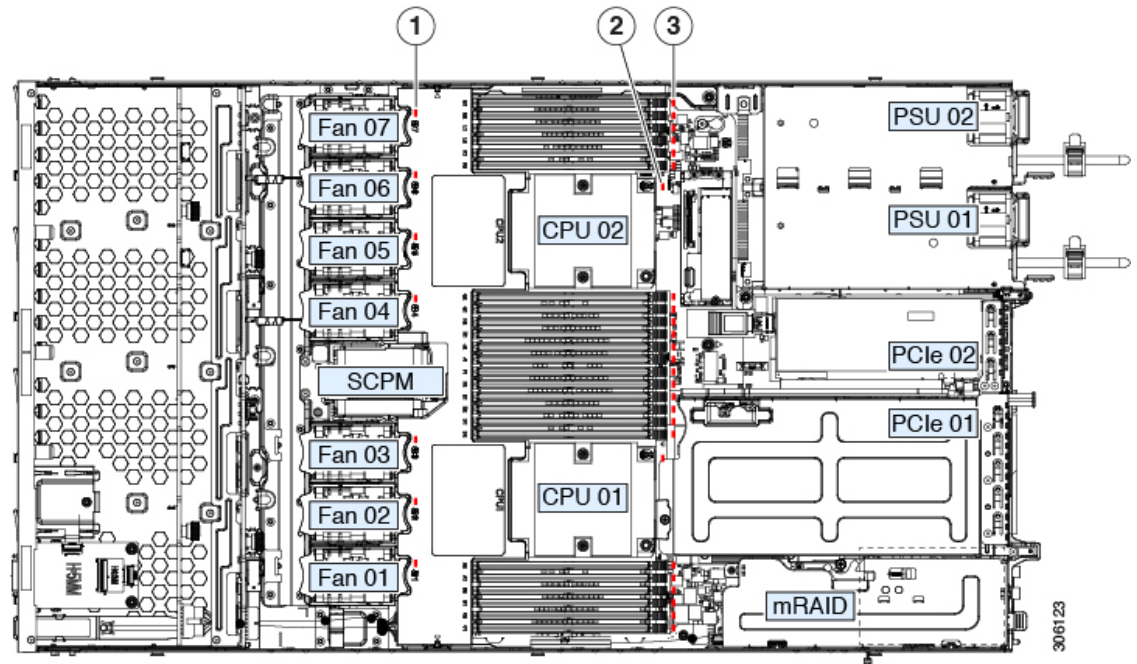
3	1 Gb イーサネット専用管理リンク速度	<ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯：リンク速度は 10 Mbps です。</li><li>• オレンジ：リンク速度は 100 Mbps です。</li><li>• 緑：リンク速度は 1 Gbps です。</li></ul>
4	1 Gb イーサネット専用管理リンク ステータス	<ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯：リンクが確立されていません。</li><li>• 緑：リンクはアクティブです。</li><li>• 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。</li></ul>
5	背面ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。</li><li>• 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。</li></ul>

6	電源の状態（各電源装置に1つ）	<p><b>AC 電源装置：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：AC 入力なし（12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイは電源オフ）です。</li> <li>• 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオンです。</li> <li>• 緑の点灯：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオンです。</li> <li>• オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオンです。</li> <li>• オレンジの点灯：重大なエラーが検出されました（過電流、過電圧、過熱障害など）。12 V 主電源はオフです。</li> </ul> <p><b>DC 電源装置：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：DC 入力なし（12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオフ）です。</li> <li>• 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオンです。</li> <li>• 緑の点灯：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオンです。</li> <li>• オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオンです。</li> <li>• オレンジの点灯：重大なエラーが検出されました（過電流、過電圧、過熱障害など）。12 V 主電源はオフです。</li> </ul>
---	-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 内部診断 LED

サーバーには、CPU、DIMM、およびファンモジュールの内部障害 LED があります。

図 5: 内部診断 LED の場所

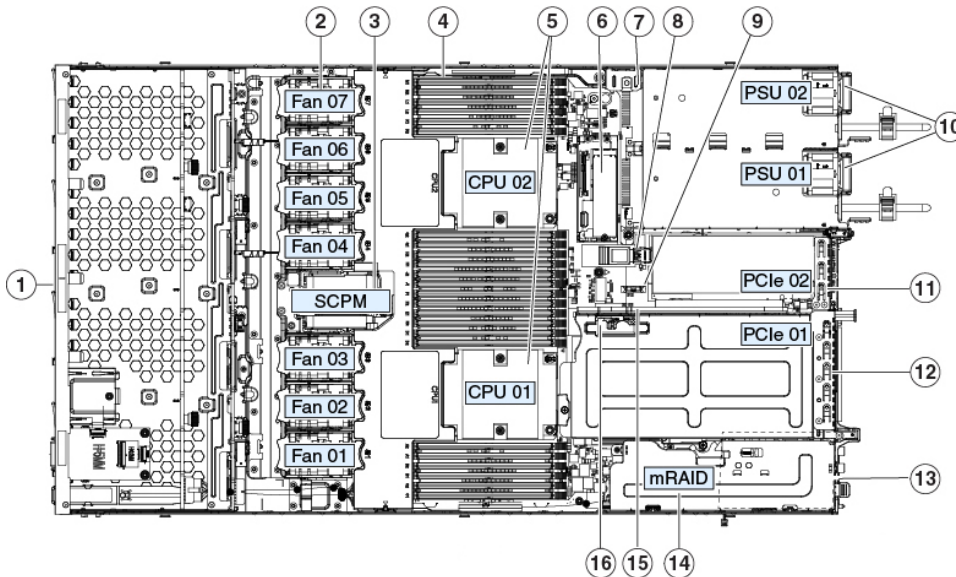


<p><b>1</b> ファンモジュール障害LED (マザーボード上の各ファンコネクタの後方に1つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オレンジ: ファンに障害が発生しているか、しっかりと装着されていません。</li> <li>• 緑: ファンは正常です。</li> </ul>	<p><b>2</b> DIMM 障害 LED (マザーボード上の各 DIMM ソケットの後方に1つ)</p> <p>これらのLEDは、サーバがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オレンジ: DIMM に障害が発生しています。</li> <li>• 消灯: DIMM は正常です。</li> </ul>
<p><b>3</b> CPU 障害 LED (マザーボード上の各 CPU ソケットの後方に1つ)</p> <p>これらのLEDは、サーバがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オレンジ: CPU に障害が発生しています。</li> <li>• 消灯: CPU は正常です。</li> </ul>	

## サービス可能なコンポーネントの場所

この項では、現場で交換可能なコンポーネントとサービス関連アイテムの位置を示します。次の図に、上部カバーを外した状態のアプライアンスを示します。

図 6: サービス可能なコンポーネントの場所



1 フロントロードドライブベイ 1 ~ 10 は SAS/SATA ドライブをサポート	9 RTC バッテリー、垂直ソケット
2 冷却ファンモジュール (7 個、ホットスワップ可能)	10 電源ユニット (1+1 冗長の場合にホットスワップ可能)
3 Supercap ユニット取り付けブラケット (RAID バックアップ)	11 PCIe ライザー 2 または スロット 2 (ハーフハイト、x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブルコネクタが付属
4 ザーボード上の DIMM ソケット (CPU あたり 12 個)	12 PCIe ライザー 1 または スロット 1 (フルハイト、x16 レーン) microSD カード用のソケットが付属
5 CPU およびヒートシンク (最大 2)	13 シャーシ床面 (x16 PCIe レーン) 上のモジュラ LOM (mLOM) カードベイ (図示されず)
6 ニストレージモジュールソケット 2つのSDカードスロットを装備したSDカードモジュール、または2つのNVMeまたはSATA M.2 SSDスロットを装備したM.2モジュールをサポート。	14 モジュラ RAID (mRAID) ライザー。オプションで以下のいずれかをサポート。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェア RAID コントローラ カード</li> <li>組み込みの SATA RAID 用インタポーザ カード</li> </ul>
7 シャーシ侵入スイッチ (任意)	15 PCIe ライザー 2 のフロントロード NVMe SSD 用の PCIe ケーブルコネクタ
8 ザーボード上の内部 USB 3.0 ポート	16 PCIe ライザー 1 の microSD カードソケット

## サーバー機能の概要

次の表に、サーバ機能の概要を示します。

機能	説明
シャーシ	1ラックユニット (1RU) シャーシ
セントラルプロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インテル Xeon 2.1 GHz 4110</li> <li>• インテル Xeon 2.1 GHz 4116</li> </ul>
メモリ	マザーボード上に 24 個の DDR4 DIMM ソケット搭載 (CPU あたり 12 個)。
マルチビット エラー保護	マルチビット エラー保護をサポートします。
ベースボード管理	<p>Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) ファームウェアを実行するボード管理コントローラ (BMC)。</p> <p>Cisco IMC 設定に応じて、1 Gb 専用管理ポート、1 Gb/10 Gb イーサネット LAN ポート、または、シスコ仮想インターフェイスカードを介して Cisco IMC にアクセスできます。</p>
ネットワークおよび管理 I/O	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 Gb イーサネット専用管理ポート X1 (RJ-45 コネクタ)</li> <li>• 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポート X2 (RJ-45 コネクタ)</li> </ul> <p>デュアル LAN ポートは、リンクパートナーの機能に応じて 1 Gbps または 10 Gbps をサポートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RS-232 シリアルポート X1 (RJ-45 コネクタ)</li> <li>• ビデオグラフィックアレイ (VGA) コネクタポート X1 (DB-15 コネクタ)</li> <li>• USB 3.0 ポート × 2</li> </ul> <p>前面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• USB 2.0 2 個、VGA 1 個、DB-9 シリアルコネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM (キーボード/ビデオ/マウス) コネクタ X1。</li> </ul>
モジュラ LOM	背面パネルの追加接続用に、mLOM カードを追加するために使用できる専用ソケット (X16 PCIe レーン) X1。
WoL	2 つの 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポートにより、Wake-on-LAN (WoL) 規格をサポート。

機能	説明
電源	<p>2 基の電源装置。1+1 で冗長構成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AC 電源装置の場合、各台に 770 W AC を設置</li> <li>• AC 電源装置の場合、各台に 1050 W AC を設置</li> <li>• AC 電源装置の場合、各台に 1600 W AC を設置</li> <li>• DC 電源装置の場合、各台に 1050 W DC を設置</li> </ul> <p>サーバでは、タイプやワット数の異なる電源装置を組み合わせて使用しないでください。</p>
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
冷却	ホットスワップ可能なファンモジュール（前面から背面に向かう冷却用）X 7。
PCIe I/O	2 つの水平 PCIe 拡張スロット（PCIe ライザー アセンブリ上）。
InfiniBand	このサーバーの PCIe バス スロットは InfiniBand アーキテクチャをサポートしています。
ストレージ、内部	<p>次の内部ストレージオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マザーボード上の USB ポート X 1。</li> <li>• ミニストレージモジュールソケット。オプションで次のいずれかが付属します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SD カードモジュール。最大 2 枚の SD カードをサポート。</li> <li>• M.2 SSD モジュール。2 つの SATA M.2 SSD または 2 つの NVMe M.2 SSD のいずれかサポートします。</li> </ul> </li> <li>• PCIe ライザー 1 の microSD カードソケット X 1。</li> </ul>
ストレージ管理	<p>次のいずれかのストレージコントローラオプションをサポートする専用の内部 mRAID ライザーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PCIe スタイルの Cisco モジュラ RAID コントローラカード（SAS/SATA）。</li> <li>• サーバーの組み込み SATA RAID コントローラ用 PCIe スタイルのインタポーザカード。</li> </ul>
RAID バックアップ	Cisco モジュラ RAID コントローラカードで使用される SuperCap ユニットの冷却ファンの近く取り付けブラケットがあります。
統合ビデオ	統合 VGA ビデオ。





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。